

4月8日

本日は本校のすべての子供たちが揃う日です。
499名の子供たちとの対面を心待ちにしていました。

始業式の前に、職員の紹介と担任発表をしました。
紹介する私を見つめる子供たちがとても嬉しそうで、
そのキラキラした瞳に胸が温かくなりました。

いよいよ1年のスタートです。
目の前の子供たちの1年が、明るく元気で、幸せに満ちたものになるようにと思いを込めて、始業式では次のように話しました。

西小学校のみなさん、おはようございます。

新しいお友達、先生方がそろって、新しい1年が始まりました。
西小学校の皆さんの心は、今、ドキドキ、わくわくしていることでしょう。
私も、ようやく皆さんたちに会えて、ドキドキ、わくわくしています。
皆さんがこの西小で今年1年、楽しく幸せに過ごせるように、私も先生方も頑張ります。

私からは、新しい年度のはじめということで、まずは西小学校の目標をお話しします。
皆さん、西小学校の目標は知っていますか。「やさしく・かしこく・たくましく」です。
先日、皆さんがさらに、やさしい子 かしこい子 たくましい子になるように、みんなで頑張ろうと先生たちで話し合いました。

さて、「やさしい子」とはどんな子でしょうか。
校長先生は、お友達も、そして自分も大切にできる子だと思います。
お友達が嬉しく楽しく思えるように、自分も嬉しく楽しく思えるようにどうしたらいいかなと考えて、それを行動にうつせるのがやさしい子だと思います。

「かしこい子」とはどんな子でしょうか。

テストの点数が高い子。もちろんそれもありますが、それだけではありません。
先生が「何かをやりましょうね」といったときに、やりたいなとか、おもしろそうだな
と思って、やってみようと思える気持ちがあることが大事です。
それを一生懸命にやることができるのがかしこい子だと思います。

「たくましい子」とはどんな子でしょうか。
力が強い子。確かにそれはたくましいです。
風邪もひかない元気な子。それもたくましいです。
けれどたくましいとは体のことだけではありません。
心のことも関係しています。
上手くいかないときに、すぐにもう駄目だとあきらめたり、すねて放り出したりするの
は、たくましいことではありません。
たくましいとは、くじけずあきらめない心のことも言っていて、健康な体と、強い心を持
って初めてたくましいとなります。

皆さん、柳の枝を見たことがありますか？
しなやかに曲がっています。
だからすぐに折れるかなと思ったら、まさかまさか、柳の枝はなかなか折れません。
しなやかで、でも強いのです。
たくましさとはいくことなのかなと思います。
そしてたくましさをもつ子は、実は、かしこくもなれるし、やさしくもなれます。
だから校長先生は皆さんにたくましさをたくさんもってほしいと考えています。

新しい一年の始まりに際して、校長先生から皆さんに
「継続は力なり」という言葉を贈ります。
継続とは続けていくこと。
続けていく中で、力はおのずとついてきます。
途中で諦めたり、投げ出したりしたら、力にはなりません。
そして、続けていくためには、目標を決め、自分に合った方法を考えて行っていくこと
が大事です。

この一年の始めに、皆さんには今年一年の目標をまずは決めて欲しいと考えています。
その目標に向かって、やさしく、かしこく、たくましくを合言葉に、

今年の1年間、元気に楽しく過ごしてもらいたいと思っています。

おわりに、今日皆さんに教科書をたくさんお渡しします。

これは、皆さんがこれからもずっと幸せに生活していける力をつけてもらいたいと、働く人たちが一生懸命働いて得たお金を国が集めて買って、

「皆さん、どうかたくさん学んでくださいね。

お金はいりませんよ。どうぞ使ってください」とくださったものです。

教科書にはそのような期待と温かな気持ちが詰まっています。

ぜひ、大事に使ってください

これで、校長先生のお話はおしまいです。